



椿姫と猫神様



① 福万寺 (皆尾)

天正年間から江戸時代と推測される。長宗我部地検長に150坪の寺屋敷があり、一條時代は寺領一町七反余を領したと記録がある。平成9年、堂宇を新築し、堂内に本尊阿弥陀如来と椿姫を祀る。



① 椿姫像 (皆尾)

一條房家公の息女の椿姫が皆尾三軒屋の館に、乳母とともに隠棲されたがある年、姫が突然行方不明となった。幼い姫の供養に祀ったものといわれ、頭に瓔珞の冠を戴き、緋袴、錦の装束を召した立像が福万寺に安置されている。



② 三軒屋遺跡 (皆尾)

一條公姫君、椿姫が乳母やお供の人々の御屋敷跡と伝えられ、姫が突然行方不明になる。
その後、「今、里人耕作せず」の記録が残っている。

③ 猫神様 (皆尾)

三軒屋遺跡から50mほど登った谷沿いに猫神様が祀られている。椿姫が行方不明になったとき、姫の飼ひ猫も乳母たちと一緒に探したが姫は見つからず、乳母は下長谷の滝に身を投げた。屋敷に戻った猫も何も食わず痩せ衰えて息絶えたという。里の人たちが祠を造り、猫神様として祀った。
猫神様のご利益として、子どもの喘息、気管や胸の病に御霊験があり、今でも村内だけでなく県外からのお詣りもある。



④ 姫瀧さん (下長谷)

一條房家公の息女、椿姫が皆尾三軒屋の館で突然行方不明になった。乳母はじめ村中で探したが行方がわからず、乳母は悲しみのあまり「妾は日向国姫嶽大明神の苗裔なり、人々の疾病を除き福寿をお守りします」と村人たちにお礼を述べ、滝から身を投げて果てたという。
以来、里の人たちは岩影に祠を建立して姫瀧権現として春秋のお祭りを続けている。

